

様式 1

県立竜ヶ崎第二高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

持ち味を活かし、より良い社会、学校のつくり手の育成を図るため、以下の項目を重点とした学校づくりを行う。

- 普通科・商業科・人間文化科の各学科の専門性と学科を超えた多様な交流の融合
- 失敗を学びの糧にする風土の醸成
- 学びのフィールドを学校の外に拡張

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
(1) 母校がある龍ヶ崎市を「私の龍ヶ崎」という視点で見つめ、将来、いかなる地域に住しようとも地域を大切にする気持ちを育てる。 (2) 基礎的資質能力を図りながら、グローバル・地域・人間・キャリア・道徳の各探究を 5 つの柱として、生徒が主体的に「話し合う」「意見をまとめる」「発表する」「行動する」等ができるようにする。	(1) 計画書や中間・最終のグループ発表、作成した資料、振り返りシートへの記入等を評価の対象とする。 (2) 最終発表後の自己評価並びにグループ内の他者の評価も評価の対象とする。	(1) 集団行動が苦手な生徒に対しては、無理のない範囲で参加するように促す。 (2) 理解度の低い生徒については、進捗状況を踏まえた個別の指導を行う。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（「課題研究」商業科・人間文化科）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	(1) 地域探究：フィールドワークで地域の課題を認識し、行政報告書等により課題が数値化して表れていることを実感できる。 (2) 道徳探究：学年集会・講演会を活用しながら、地域探究・グローバル探究の成果を織り込み、様々な事象・出来事を俯瞰的に見ることが出来る。	地域の外部講師（茶道 他）を招くことにより、学校内だけではなく、社会と共有・連携しながら学びの意義を実感させ、学習意欲の向上を図る。	フィールドワークによる意見交換により、自己の意見を客観して、他者の意見から多様性を尊重し、意見発表を通してプレゼンテーション能力が育成できる。
2 年	(1) 地域探究：RESAS を用いて、統計的に地域の特徴や課題を見出し、改善策を考える。 (2) キャリア探究：学年集会や外部講師を招いた講演会を通して、希望に沿った進路実現のために必要な知識・思考法を学ぶ。	市役所と連携し、データの活用について、学ぶ意義を実感させる。 外部講師や、大学・専門学校から進路講演をいただき、学習意欲の向上を図る。	データから地域の特徴を見出し、政策の是非を考え、論理的に説明できる生徒を育成する。
3 年 (まいりゅうプラス)	(1) 進路別講演会並びにガイダンスを踏まえて自身の進路を深く考え、インターネットや進路に関する雑誌等を研究し、希望する進路の実現を図る。 (2) スーツ着こなしセミナー、受験報告書の作成等を通じて、進路先での振る舞いを自覚するとともに、自己を振り返ることで社会人並びに大人としての規範意識を高めるきっかけとする。	外部講師を招くことにより、学校内だけではなく、社会と共有・連携しながら学びの意義を実感させ、学習意欲の向上を図る。	生徒の主体的に「話し合う」「意見をまとめる」「発表する」「行動する」等の力を育成する。

様式 1